



京都市男女共同参画センター

ウイングス京都

ギャラリースペース
オープニング企画

Opening Program of
Gallery Space in Wings Kyoto

天
才
ア
ー
ト
展

Tensai Art
Exhibition

2017年

9月21日(木)

Sep. 20 Thu.

10月1日(日)

Oct. 1 Sun.

水曜日は休館

Closed on Wednesday

11時-18時

11:00 - 18:00

入場無料

Admission Free

京都市男女共同参画センター

ウイングス京都

ギャラリースペース

Gallery Space in Wings Kyoto

京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262
御射山公園北側

262 Misayama-cho Rokkaku-sagaru
Higashinotoin-dori Nakagyo-ku Kyoto

交通 地下鉄・四条駅または烏丸御池駅下車徒歩5分

阪急・烏丸駅下車徒歩5分

市バス 四条高倉バス停徒歩4分

Access 5 Minutes on foot from subway station "Shijyo" or "Karasuma Oike"

5 Minutes on foot from Hankyu railroad station "Karasuma"

4 Minutes on foot from citybus stop "Shijyo-takakura"

駐車場はありません

No parking



東アジア文化都市 2017 京都
CULTURE CITY OF EAST ASIA 2017 KYOTO

【連携事業】

天才アートとは

障害のある人の手による
独自の創作をいいます。

Tensai Art (Genius art)
means the creative artwork
by the disabled person.



Tensai Art KYOTO

endless breath



主催
特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構
共催
京都市 京都市教育委員会
後援
京都新聞社会福祉事業団
京都市立総合支援学校長会
協力
文化庁地域文化創生本部
文化庁京都移転・私たちができること推進チーム
出展協力
大谷大学

京都市男女共同参画センター ウィングス京都
ギャラリースペース オープニング企画

天才アート展

東アジア文化都市2017京都
【連携事業】

会期 2017年9月21日(木) - 10月1日(日) 水曜日は休館 入場無料

時間 11時 - 18時

会場 京都市男女共同参画センター ウィングス京都 ギャラリースペース (新設)

京都市中京区東洞通六角下ル御射山町262 御射山公園北側

交通 地下鉄「四条駅」または「烏丸御池駅」下車徒歩5分

阪急「烏丸駅」下車徒歩5分

市バス「四条高倉バス停」徒歩4分 駐車場はありません

endless, breath

終わりのない表出、一瞬一瞬の息づかい

石原寛子、川嶋誉大、足立茉莉、富田晃生、小寺菜月の5名の作品を取り上げました。共通する特質は自らが生み出した制作プロセスに拘り、ひとつの表象(イメージ)を執拗に追い続ける創作行為にあります。そこには完成をめざす絵画的な手法ではなく、終わりのない“生の営み”のように繰り返される根源的なエネルギーが静かに流れています。しかしそれは決して無機質で機械的な作業ではなく一点一点に込められた想いと、息づかいを感じとることができます。endless, breath — ここにも障害のあるクリエイターが表出する確かなアートが存在します。

川嶋誉大

Yoshohiro Kawashima

1996年生

色彩が物質化する。

色画用紙にクレパスを刷毛を使うようにすみずみまで塗り込み

一色が終わると上から次の色へ、また次の色へとためらいなく進行し、画面にフロッタージュ作品のような表情が出現する。

両面が塗りつぶされると、画用紙は色彩の面材へ変貌する。

石原寛子

Hiroko Ishihara

1999年生

セロテープのコンセプトアートと呼ぶべきか。

中指の先端から内側の肘までセロテープを貼り、先端から注意深く肘にむかってセロテープを巻き取ってゆく。

粘着性をもつ小さな円筒は高さや直径が標準化され、個々を接着させて列べられていくと

細胞のように机上に増殖をつづける。この創作行為は小学4年生から今日までかわらない。

足立茉莉

Mari Adachi

2000年生

スパイラルに生命の鼓動がうずまき。

色鉛筆やカラーマーカーを使いわけて、ひたすらスパイラル(うず巻き)パターンをくりかえす。

パターンの上から上へスパイラルは重ねられて白い画面はいつしか色彩が躍動する。

大きなスパイラル、平べったいスパイラル、歪んだスパイラル…。彼女は目前に生命体の誕生を見ているのかも知れない。

富田晃生

Akio Tomita

1989年生

社名やブランドのロゴタイプのオブジェクト一字一字を

色厚紙からハサミで切りとり、別の色厚紙の上にならべて

セロテープで幾重にも巻きつけて完成、この間わずか20~30分程度。

この10年間で500点に及ぶ作品数とそのパワーは驚異的である。

小寺菜月

Natsuki Kotera

1993年生

切り絵に無意識下のイメージが込められて。

白い紙を半分にたたんで、即座にハサミで一つのかたちを切りとる。開くと不思議な図像が出現する。

図像を見せてロールシャッハ・テストのように尋ねる。“これ何の木?”

彼女にはブードルやマッシュルームなどの具体的なイメージが宿っているらしい。こうした切り絵は既に3万点を超える。

背景は制作中の富田晃生

予

天才アート展

2017 東アジア文化都市2017京都
【連携事業】

10/27(金) - 11/8(水) 月曜日は休館

11:00 - 18:00 入場無料

堀川御池ギャラリー 御池通堀川北東角

京都市中京区油小路通御池押油小路238-1

地下鉄東西線「二条城駅前」下車徒歩4分

市バス「堀川御池バス停」徒歩1分

告

シンポジウム(入場無料・先着順)

10/28(土) 14:00 - 16:30

会場 京都市立京都堀川音楽高等学校

城翼アリーナ体育館 堀川御池ギャラリー東隣

テーマ

障害者芸術の振興にかかわる諸問題

講師・パネラー

服部 正(甲南大学文学部准教授)

建畠 哲(多摩美術大学学長 京都芸術センター館長)

松坂浩史(文化庁地域文化創成本部事務局長) ほか

主催=特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構

共催=京都市 京都市教育委員会

後援=京都新聞社会福祉事業団 京都市立総合支援学校長会

協力=文化庁地域創生本部 文化庁移転・わたしたちができること推進チーム

